

ちほめんNEWS

兵庫県立大学 × ちほめん 共催企画
～県内就職率向上のための企画をWEBで実施～

企画の概要

兵庫県内の企業の魅力を学生に伝えるため、地元金融機関である尼崎信用金庫と「業務スーパー」を全国に展開する株式会社神戸物産の2社に協力を依頼し、兵庫県立大学井本先生のファシリテートの下、自社の業務内容や地元への貢献を通じた仕事のやりがいなどを説明した後、企業担当者と学生の意見交換を実施。

また、コロナ禍の影響を踏まえて、対面ではなく、Web会議システムZoomを活用し、学生は自宅からオンラインで参加。

企画の歩み

この企画は、兵庫県立大学濱田准教授から「県内就職率の低下が課題だ」とのお話しを受けてスタートしたもので、好評を得られたため継続して実施し、今回で第3回目の開催を迎えました。

●第1回(H31. 1. 21)

<https://lfb.mof.go.jp/kinki/content/000227766.pdf>

●第2回(R2. 1. 20、R2. 2. 3)

<https://lfb.mof.go.jp/kinki/content/000263363.pdf>

【 兵庫県立大学 井本先生 】



【講師プロフィール】

人材業界でキャリアコンサルタントとして求職者支援に従事。育休復帰後、社内初の時短管理職に。その後独立。

現在は、女性のキャリア支援、大学でのキャリア講座の講師に従事。



✓日時

令和2年7月20日(月)
2限(10:40~12:10)
3限(13:00~14:30)
※講義内容は同じ

✓対象者

兵庫県立大学 1回生中心

✓講義名

キャリアデザイン入門

学生が今後のキャリア(生き方、働き方)について考え、自己をみつめ、実現したい思いを行動に移すことを主眼とした講義

企画のポイント

- ☑兵庫県立大学と連携し、兵庫県の課題である「就職による学生の県外流出」への対策を検討する継続企画。
- ☑コロナ禍の影響を踏まえ、学生と対面でのイベントは避け、Zoomを活用したオンライン形式による企画を実施。

■ ちほめんによる県内経済情勢について

冒頭、2限の講義はちほめんの三田事務官、3限は谷事務官が担当し、ちほめんによる地方創生に向けた取り組みのほか、兵庫県の産業構造や県内自慢の地場産業などを熱く説明し、他県に負けない兵庫県の魅力を多分にアピールしました。

最後には今日のイベントを今後のキャリア形成の参考にして欲しいと学生にエールを送りました。

【 ちほめん 三田事務官 】



【 ちほめん 谷事務官 】



〔 尼崎信用金庫 ソリューション推進部 幸田部長 〕



【 創業支援イベント 】

あなたのビジネスプランで未来を描こう

あまコン4th ファイナル

第4回 新本格ビジネスプランコンテスト 最終審査会

日時: 1/21 (水) 14:30~18:00 (参加無料)

会場: 兵庫県企業センター 1階 1号研修室 (神戸市中央区)

18:00~19:00 (参加費: 2,500円)

プログラム

- 14:30 開会
- 14:35 ファイナルプレゼンテーション 第一部
 - ① 株式会社 Bloom 豊田 聡之介
 - ② トムトム人形 渡辺 真由子
 - ③ NPO法人つばさ 大野 拓一
 - ④ 「ほくぞわかしがやまやまのマップづくりクラブ」 さんまのプロジェクト 株式会社 立野 真生
 - ⑤ 飲食店を通じて、誰がいちばんの自立を支援する
- 15:40 休憩
- 15:50 ファイナルプレゼンテーション 第二部
 - ① 株式会社 成興 竹本 戸川 恭弘
 - ② これまでにない「健康チェック(トイチャック)」の創発 廣瀬 隆
 - ③ 株式会社 テレ・リアル 中野 真生
 - ④ 全ての企業が「誰がいちばんの自立を支援する」
- 16:30 休憩
- 16:45 トークセッション
 - ① オープンイノベーション 株式会社 長崎 株式会社 エアランド 代表取締役 長崎 隆
 - ② 株式会社 テレ・リアル 中野 真生
 - ③ 株式会社 成興 竹本 戸川 恭弘
 - ④ 株式会社 テレ・リアル 中野 真生
- 17:30 閉会
- 18:00 終了

オーディエンス数は、他の学年に比べて多いので、ぜひ参加してください！
素敵なプレゼントがあります！

■ 株式会社神戸物産による業務説明

株式会社神戸物産人財開発部柴田係長から、ご自身の経歴や同社に入社した経緯を紹介した後、業務スーパー事業をメインとする事業内容のほか、フードバンク活動支援や地元へのマスク寄贈などのCSR活動にも触れながら説明しました。

■ 尼崎信用金庫による業務説明

続いて、尼崎信用金庫ソリューション推進部幸田部長から尼崎信用金庫の業務内容について、本業である融資業務だけでなく、創業支援や事業承継支援などのコンサルティング業務や地域貢献活動にも触れながら、地元で働く魅力を丁寧に説明。

そのほか、社会で働くイメージや仕事のやりがいを学生に伝えるため、「学生と社会人の違いとは何か」、「マズローの5段階欲求」などのテーマを軸にして学生に説明しました。

学生	社会人
・自由である	・社会のルールがある
・学校に支払う	・会社から給与をもらう
・社会的責任は少ない	・社会的責任が生じる
・気に入った人間関係	・利害をもった人間関係
・好きなことが第一	・嫌な事でもやらなければいけない
・親から養ってもらう	・親からの独立



〔 株式会社 神戸物産 柴田係長、犬飼部長 〕

■ グループディスカッション、意見交換

尼崎信用金庫、株式会社神戸物産からの業務説明の後、学生がオンラインでグループディスカッションして感想をシェアしたほか、企業担当者に対して「どのような仕事楽しかったか」、「働く意味とは」といった質問が飛び出し、企業担当者からは、「自分が担当した仕事を通じてお客様に喜んで頂いたときに仕事の楽しさを感じることができた。」、「若いときはお給料のために働くと思っていたが、働くにつれてその意味は変わり、今では自分自身の成長や地域への貢献のためにも仕事をしている」など、学生の心を擦る言葉で回答しました。



～講義の流れ～

1. 財務事務所による県内経済情勢等の説明
2. 尼崎信用金庫、株式会社神戸物産による業務説明
3. 学生同士によるグループディスカッション
4. 学生と企業担当者との意見交換

■ しめくくり

イベントのしめくくりとして、企業担当者から学生に対して、学生時代には勉強に励むだけではなく、自分自身の経験値や器を大きくするような行動を心掛け、大学の4年間を有意義なものにして欲しいとのエールを送りました。

■ 学生からの声

イベント後の学生のアンケートでは、

▶ 地元企業での就職は考えていなかったが、地元企業に就職するメリットとして、自分の考えた提案が実現しやすい、地元からの生の声が届きやすいなど、仕事の成果をダイレクトに感じられることに魅力を感じた。

▶ 2社とも、社会に貢献できることは何か、地元で貢献できることは何かを常に考えていて、私もやりたい事を一生懸命取り組んで地域社会に貢献できるような人材になりたい。

▶ 将来のキャリア選択のためにも、大学生のときに様々な経験を積んでおくことが大切だという点に共感できた。インターンやボランティアに積極的に参加するなど自分からアクションを起こしていきたい。

などの前向きな感想がたくさん寄せられ、このイベントが参加した大学生にとって今後のキャリア形成を考える上で重要な契機になり、地元で働く魅力や仕事のやりがいを余すことなく伝えることができました。

神戸財務事務所では、イベント企画などを通じて、地方創生・地域貢献に向けた取り組みを引き続き積極的に推進していきます。

今回、御協力頂いた皆様、どうもありがとうございました。

神戸財務事務所総務課企画係